

平成30年度近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰

—京都市—

受賞者の取り組み

- 36駅重点整備地区の移動等円滑化基本構想の策定と多部局連携による継続改善(PDCA)化
- 人と公共交通優先の「歩いて楽しい四条通」歩道拡幅事業



- 使いやすく、人にやさしい京都の玄関口を目指した「京都駅八条口」の整備



- 心のバリアフリーを目的としたハンドブック作成・周知、啓発活動の実施



講評

京都市は、全国最多となる18の基本構想を策定しており、当事者団体、市民の参画を得て、継続的に見直し、改定を行うなどスパイラルアップを図っている。また、平成24年3月に「歩くまち・京都」交通バリアフリー全体構想策定し、「歩くまち京都」のコンセプトでハード、ソフト両面から取組を進めている。

他の自治体に先んじた取組を積極的に行っていることが高く評価された。

第12回(H30年度)国土交通大臣表彰受賞